613-000268 Rev.B 051214

CentreCOM SSL VPN-Plus

取扱説明書

このページは空白です。

はじめに

このたびは、CentreCOM SSL VPN-Plus をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、1U サイズの SSL VPN アプライアンスです。
本書は、本製品の基本的な取り扱い方法について解説しています。
本書をご覧いただき、本製品を正しくお使いくださいますよう、お願いいたします。

インテル、Intel、Pentium、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、本文中で記載している会社名および商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。なお、本文中では ™ マークおよび ® マークを表記していない場合があります。

Copyright© 2005 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved.

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。

弊社は、お客さまの生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく本製品を安全にお使いいただくために、細心の注意を払っています。本製品をお使いの際は、本書をよくお読みになり、理解された上でご使用ください。また、本書は本製品の使用中にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

●警告表示について

本書では、使用者および周囲の方々や財産に損害を与えないための警告表示をしています。警告表示は、警告レベルの記号と警告文の組み合わせになっています。

⚠ 警告　正しく使用しない場合、死亡または重傷のおそれがあることを示します。

⚠ 注意　正しく使用しない場合、軽傷または中程度の傷害を負うおそれがあることを示します。
また、当該製品自体または他の使用者の財産に対して損害を与えるおそれがあることを示します。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

△は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

⚠ 警告　本製品を安全にお使いいただくために、必ずお守りください。正しく使用しない場合、死亡または重傷のおそれがあることを示します。

区分	警　告　事　項
感電・火災について	本製品の分解・解体・改造・再生を行わないでください。
	本製品の上には絶対に物を載せないでください。感電・火災・故障の原因となります。
	直射日光のあたる場所や暖房機の近く、湿気、ほこりの多い場所には置かないでください。感電や火災のおそれがあります。
	装置内部が高温になるのを防ぐため、通気孔をふさがないでください。 火災のおそれがあります。
	電源ケーブルは接地端子付きの３ピン電源ケーブルを使用してください。不適切な電源ケーブル・コンセントは感電・火災・故障の原因となります。

区分	警 告 事 項
感電・火災について	万一、装置から発熱・発煙・異臭が発生したときは、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。 電源を切ったら購入元に連絡してください。そのまま使用すると、感電や火災のおそれがあります。 なお、この場合、通信中のデータは保証されません。
	電源ケーブルやその他のケーブル類を傷つけたり、加工したりしないでください。 電源ケーブルやその他のケーブル類の上に物を載せたり、絡ませたり、足を引っかけたりしないようにしてください。 感電や火災のおそれがあります。
	本製品の電源ケーブルは、タコ足配線にしないでください。 コンセントが過熱し、火災の原因となることがあります。
	電源プラグの金属部分およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよくふき取ってください。そのまま使用すると、火災の原因となります。
	電源ケーブルは、プラグ部分を持ってコンセントから抜いてください。 プラグが傷んで感電や火災のおそれがあります。
	電源プラグは、電源コンセントに確実に奥まで差し込んでください。 差し込みが不十分な場合、感電・発煙・火災の原因となります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
	電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは、使用しないでください。 そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
	使用中の装置を布でおおったり、包んだりしないでください。熱がこもり、火災の原因となることがあります。
	電源ケーブルを束ねて使用しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。
	雷が鳴りだしたら、ケーブル類に触れないでください。感電の原因となります。
	コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が、装置内部に入らないように気をつけてください。また、装置内部に異物が入るのを防ぐため、装置の上には物を置かないでください。感電や火災のおそれがあります。
	装置のすき間に、ドライバやペン先などを入れないでください（リセットスイッチを除く）。 感電の原因となります。
破損・負傷について	振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。 落下したりして、けがの原因となることがあります。
	装置の上に物を置いたり、装置の上で作業したりしないでください。 装置が破損したり、作業者が負傷したりするおそれがあります。
	梱包に使用しているビニール袋は、お子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないようご注意ください。窒息の原因となります。
	本製品を廃棄するときは、他のゴミと一緒に捨てないでください。火中に投じると破裂するおそれがあります。

⚠注意　正しく使用しない場合、軽傷または中程度の傷害を負うおそれがあることを示します。また、当該製品自体または他の使用者の財産に対して損害を与えるおそれがあることを示します。

区分	注 意 事 項
故障について	振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。故障の原因となります。
	装置の上に物を置いたり、装置の上で作業したりしないでください。故障の原因となります。
	装置を高いところから落とさないでください。故障の原因となります。
	装置を重ね置きしないでください。故障の原因となります。
	本製品は、屋内に設置してください。屋外で使用すると故障の原因となります。
	極端な高温、または低温状態や温度変化の激しい場所で使用しないでください。故障の原因となります。
	塩害地域では使用しないでください。故障の原因となります。
	衝撃や振動の加わる場所で使用しないでください。故障の原因となります。
	薬品の雰囲気中や、薬品にふれる場所で使用しないでください。故障の原因となります。
	電子レンジなど、強い磁界を発生する装置のそばで使用しないでください。故障の原因となります。
	内部に液体や金属類などの異物が入った状態で使用しないでください。故障の原因となります。
	本製品を移動するときは、必ず電源ケーブルを本体から抜いてください。故障の原因となります。
電波障害について	ラジオやテレビジョン受信機のそばで使用しないでください。 ラジオやテレビジョン受信機に雑音が入る場合があります。
感電について	保守時には必ず電源ケーブルを本体から抜いてください。

●最新のソフトウェアについて

- 弊社は、改良（機能拡張、不具合修正など）のために、予告なく本製品のソフトウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のソフトウェアは、弊社ホームページから入手してください。

  なお、最新のソフトウェアをご利用の際は、必ず弊社ホームページに掲載のリリースノートの内容をご確認ください。

本書の読み方

本書の構成内容、本書での表記に関する注意事項などについて説明します。

●マニュアル体系

本製品には以下のマニュアルが用意されています。必要に応じてお読みください。

『取扱説明書』（本書）

本製品の仕様や基本的な取り扱い方法、トラブルの対処方法について説明しています。必ずお読みください。

『設定ガイド』（CD-ROM）

添付の「設定ガイド」CD-ROM には、本製品の設定方法や構成例についてのマニュアルが含まれています。本製品の初期設定・運用を行うには、CD-ROM に収録されているマニュアルをお読みください。

『補足マニュアル』（冊子）※ファームウェアバージョン 1.4（1472）以降

ファームウェアバージョン 1.4（1472）以降で利用可能な機能（設定・ファームウェア関連）について説明しています。本製品の設定のバックアップ／初期化、ファームウェアアップデートなどを行うには、こちらのマニュアルを参照してください。

『リリースノート』（弊社ホームページに掲載）

本製品に関する最新の情報（追加機能、変更点、注意点や、取扱説明書と設定ガイドの補足内容）が記載されています。リリースノートは本製品には同梱されていません。弊社ホームページに掲載されています。

http://www.allied-telesis.co.jp/

●本書の構成について

第 1 章　お使いになる前に

本製品の概要について説明します。

第 2 章　取り扱い方法

本製品の基本的な取り扱い方法について説明します。

第 3 章　困ったときに

トラブルの対処方法について説明します。

付録

仕様、サポート、その他注意事項について説明します。

●本書の表記について

本書で使用している記号とその意味を以下に示します。

重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
備考	操作に関する補足事項を記述しています。必要に応じてお読みください。
→	関連する情報が記載されているマニュアルを示したり、参照先を示しています。必要に応じてお読みください。

●略称

本書では、以下の製品名称について省略して表記する場合がありますので、ご了承ください。

製品名称	略称
CentreCOM SSL VPN-Plus	SSL VPN-Plus、 本製品、本体

目次

はじめに i
安全にお使いいただくために ii
●警告表示について ii
●最新のソフトウェアについて iv
本書の読み方 v
●マニュアル体系 v
●本書の構成について v
●本書の表記について vi
●略称 vi

目次 vii

第 1 章　お使いになる前に 1
1.1　機能と特長 1
1.2　作業の流れ 2
1.3　梱包物の確認 3
1.4　各部の名称と働き 4
（1）　本体前面 4
（2）　本体背面 5
1.5　装置ラベルについて 6
（1）　製造銘板 6
1.6　本製品の設置 7
（1）　設置条件 7
（2）　ゴム足の取り付け 10
（3）　ラックへの搭載 11
（4）　コネクターの接続 12

第 2 章　取り扱い方法 13
2.1　電源の入れ方／切り方 13
（1）　電源を入れる 13
（2）　電源を切る 13
2.2　設定／管理 14
2.3　日常のお手入れ 14
（1）　装置本体のお手入れ 14

第 3 章　困ったときに 15
（1）　電源をオンにしても電源ランプが緑に点灯しない 15
（2）　電源ランプが緑に点灯するが、正しく動作しない 15

（3） ケーブルを接続しても LAN コネクターの LED が点灯しない15
（4） 管理画面にアクセスできない..........16

付録 A 仕様.......... 17
A.1 製品仕様..........17

付録 B 保証とユーザーサポート 18
B.1 保証と修理..........18
B.2 サポートライセンス（年次）..........18
B.3 ご注意..........19
B.4 商標について..........19
B.5 電波障害自主規制について..........19
B.6 廃棄方法について..........19
B.7 日本国外での使用について..........19
B.8 マニュアルバージョン..........19

第 1 章　お使いになる前に

この章では、本製品の概要と操作の流れについて説明します。

1.1　機能と特長

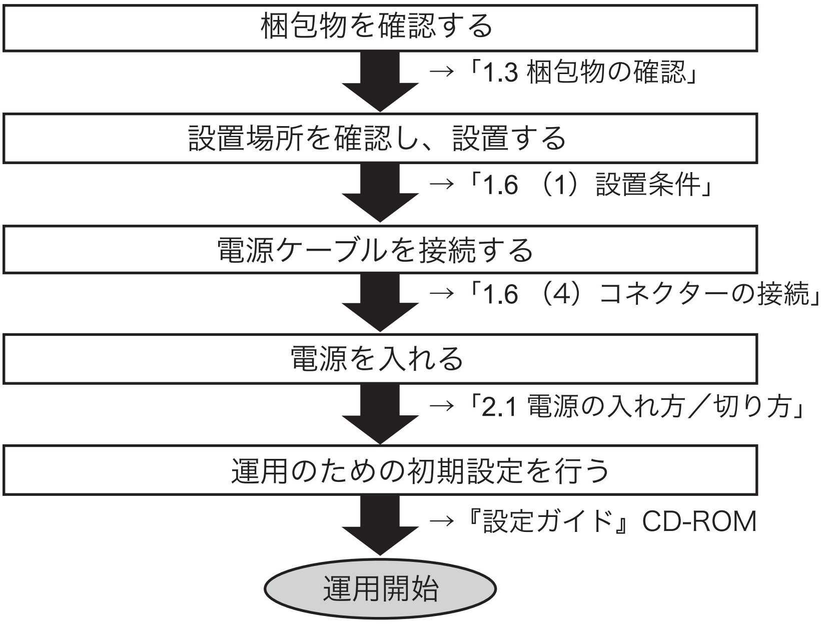
本製品は、新たな時代を開く SSL-VPN アプライアンス製品です。画期的な技術により、従来の SSL-VPN ソリューションでは成し得なかったコストパフォーマンスを実現しています。

以下に概要を示します。

- 1Gbps と 10/100Mbps のネットワークポートを搭載した高性能アプライアンスモデルにより、高速なスループットを実現しています。
- Web アプリケーションに限らず、LAN 上の Windows PC で利用できる TCP/IP アプリケーションであれば、基本的に制限や変更なく、リモートアクセスを行うことができます。プライベートネットワーク内でのアプリケーション利用環境が、リモートからもセキュアに実現できます。
- ハイパフォーマンス・ハイスループットを実現し、なおかつ、価格を抑えたことで、コストパフォーマンスに優れた SSL-VPN 環境を構築することが可能です。
- 導入の際、ローカルやリモートの NAT や IP アドレスの設定、またアプリケーションも基本的に変更する必要がありません。クライアント PC へのモジュールインストールは Web ブラウザー経由で行われますが、インストール後は Web ブラウザーを起動しておく必要はありません。リモートからでも、プライベートネットワーク内と同様のユーザーインターフェースで、各種アプリケーションの操作が可能です。
- 2 つの画期的なテクノロジー（TSSL エンジンと ICAA テクノロジー）を採用したことで、ハイパフォーマンスとハイスループットを実現しました。更に、ファイアウォールレベルのセキュリティー確保と、外部からの不正アクセス・攻撃を防御します。

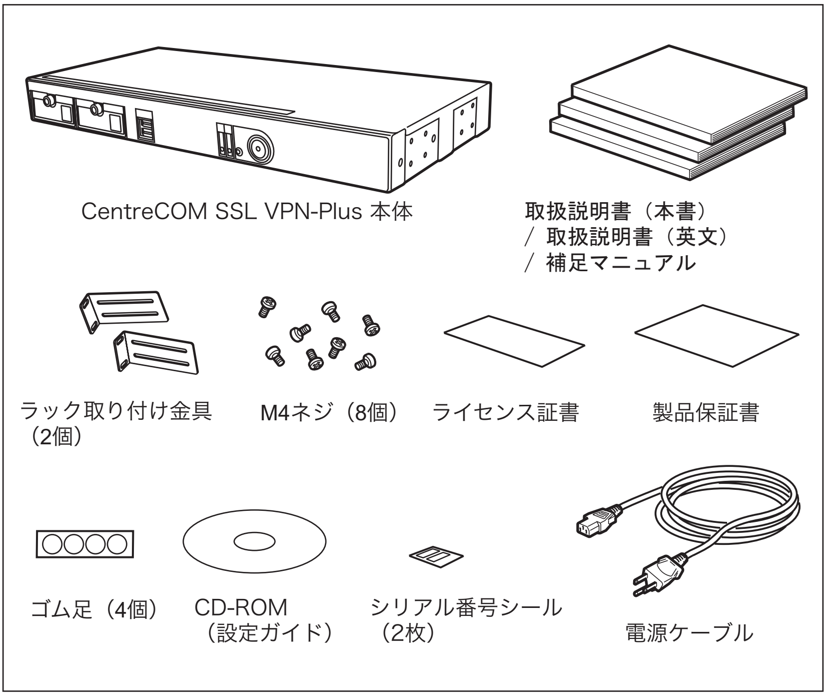
1.2　作業の流れ

開梱から運用開始までの作業の流れを次に示します。



1.3 梱包物の確認

本製品をお使いになる前に、次のものがすべて揃っているかを確認してください。
万一、不足しているものや取扱説明書の乱丁、落丁などがある場合は、購入元に連絡してください。

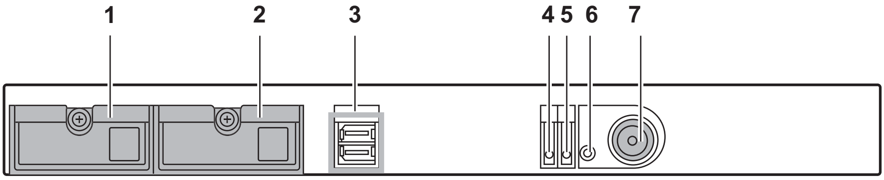


添付品の名称	内容
☐ CentreCOM SSL VPN-Plus 本体	本製品の装置本体です。
☐取扱説明書 日本語版	本製品の取扱説明書（本書）です。
☐取扱説明書 英語版	本製品の取扱説明書（英語版）です。
☐補足マニュアル ※ファームウェアバージョン 1.4（1472）以降	本製品の追加機能（設定・ファームウェア関連）について説明しています。
☐ラック取り付け金具	本製品をラックに搭載する場合に使用します。
☐ M4 ネジ	ラック取り付け金具を本製品に取り付けるときに使用します。
☐ゴム足	本製品を机上などに設置する場合に取り付けます。
☐電源ケーブル	本体用の電源ケーブルです。 ※同梱の電源ケーブルは AC100V 用です。200V をご利用の際は、設置業者にご確認ください。
☐ CD-ROM（設定ガイド）	本製品の設定方法や構成例についてのマニュアルを収録した CD-ROM です。
☐ライセンス証書	本製品を使用いただく際に必要なライセンス情報が記載されています。
☐製品保証書	本製品の製品保証書です。
☐シリアル番号シール	シリアル番号が記載されたシール（製品保証書用）です。

1.4 各部の名称と働き

本製品の各部の名称とその働きは、以下のとおりです。

（1） 本体前面



1 ハードディスク／コンパクトフラッシュスロット 1

2 ハードディスク／コンパクトフラッシュスロット 2

弊社工場出荷時に、ハードディスクまたはコンパクトフラッシュドライブを搭載するためのスロットです。（お客様が変更することはできません。）

3 USB コネクター

USB（Universal Serial Bus）2.0 規格のコネクターが 2 つ用意されています。
（サポート予定）

4 ハードディスクアクセスランプ

ハードディスクにデータを書き込んだり、ハードディスクまたはコンパクトフラッシュからデータを読み込んだりしているときに、緑色に点灯します。

5 電源ランプ

本製品に電源が入っているときに、緑色に点灯します。

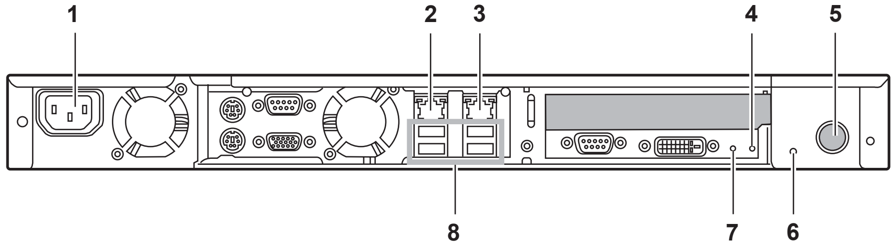
6 リセットスイッチ

システムのリセットを行います。

7 電源スイッチ

本製品の電源を入れたり切ったりする場合に使用します。5 秒以上押し続けると、強制的に電源が切れます。

（2） 本体背面



1 電源コネクター

電源ケーブルを接続します。

2 LAN コネクター（LAN0）

10BASE-T/100BASE-TX 仕様準拠の LAN コネクター（オートネゴシエーション、MDI 固定）です。

- LINK/ACT LED（端子左側）

  リンク確立時に緑色で点灯、パケット送受信時に緑色で点滅します。
  リンクが確立していない時に消灯します。

- 10M/100M LED（端子右側）

  100Mbps でリンク確立時に黄色で点灯します。
  10Mbps でリンク確立時（またはリンクが確立していないとき）消灯します。

3 G-LAN コネクター（LAN1）

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 仕様準拠の LAN コネクター（オートネゴシエーション、MDI/MDI-X 自動切替）です。

- LINK/ACT LED（端子左側）

  リンク確立時に緑色で点灯、パケット送受信時に緑色で点滅します。
  リンクが確立していない時に消灯します。

- 10M/100M/1000M LED（端子右側）

  1000Mbps でリンク確立時に黄色で点灯、100Mbps でリンク確立時に緑色に点灯します。
  10Mbps でリンク確立時（またはリンクが確立していないとき）消灯します。

4 電源ランプ

本製品に電源が入っているときに、緑色に点灯します。

5 電源スイッチ

本製品の電源を入れたり切ったりする場合に使用します。5 秒以上押し続けると、強制的に電源が切れます。

6 リセットスイッチ

システムのリセットを行います。

7 ハードディスクアクセスランプ

ハードディスクにデータを書き込んだり、ハードディスクからデータを読み込んでいるときに、緑色に点灯します。

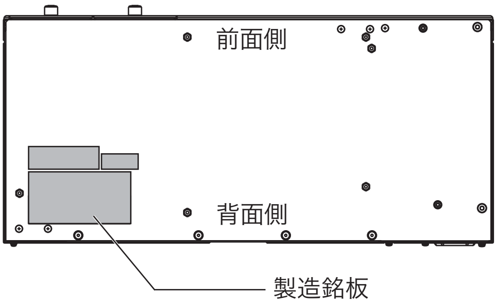
8 USB コネクター

USB（Universal Serial Bus）2.0 規格のコネクターが 4 つ用意されています。
（サポート予定）

1.5 装置ラベルについて

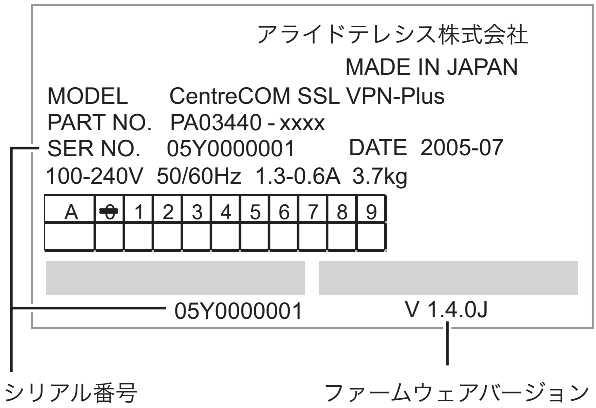
本製品に貼付されているラベルについて説明します。

［本体底面］



(1) 製造銘板

型名、型番、製造年月、シリアル番号（製造番号）、ファームウェアバージョンなどが、以下のように記載されています。



1.6　本製品の設置

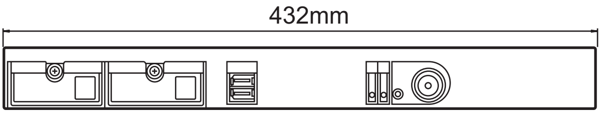
本製品の設置条件や設置手順について説明します。

（1）　設置条件

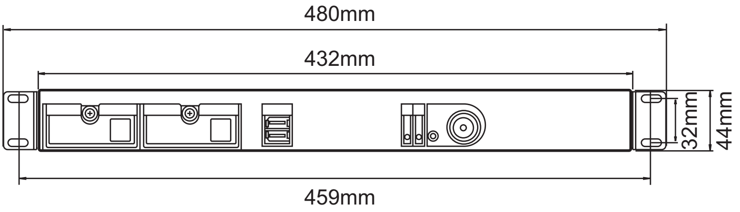
●外形寸法の詳細について

外形寸法の詳細について次に示します。

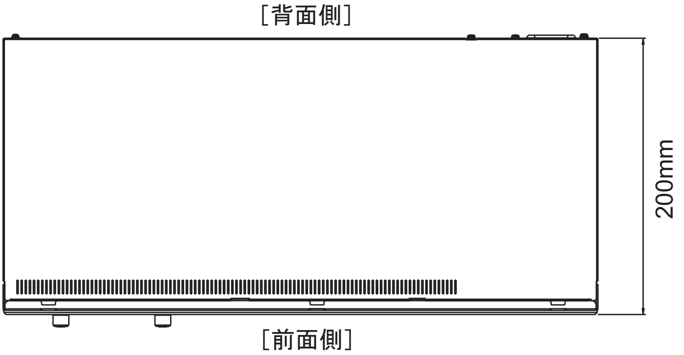
- 本体前面
    - ラック取り付け金具がない場合



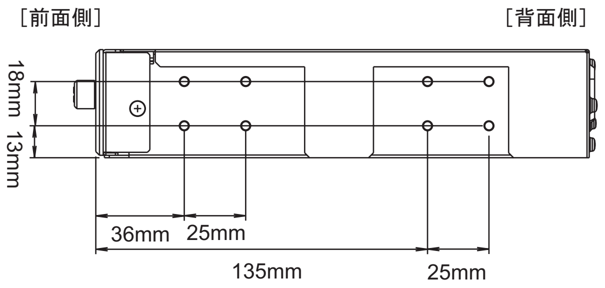
- ラック取り付け金具を付けた場合



- 本体上面



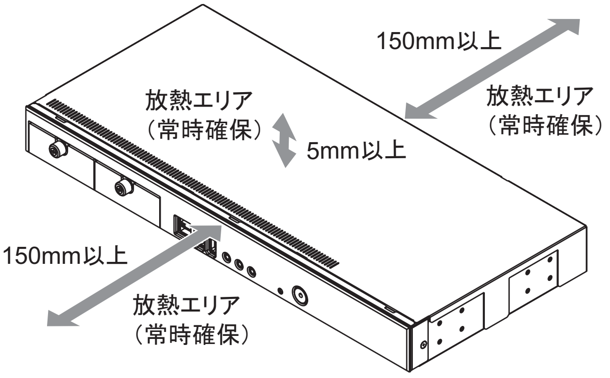
- 本体右側面



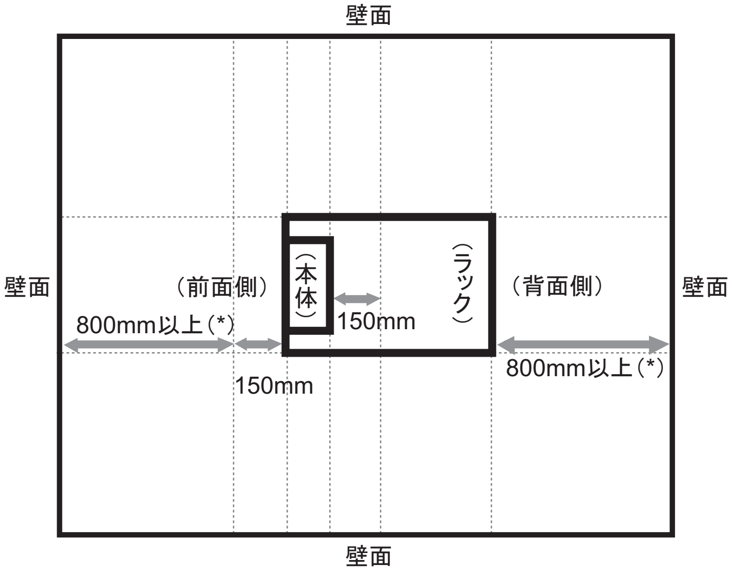
●設置スペース

設置する際は、以下のスペースを確保してください。

- 平置きの場合



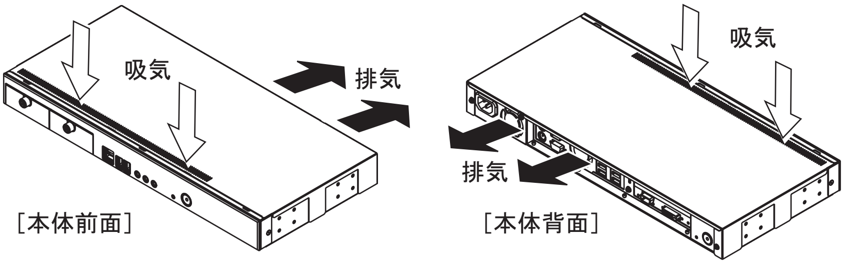
- ラック搭載の場合（19 インチラック）



*）保守作業を行うときに必要なエリアです。

●吸排気について

本製品は、空冷方式で本体内部を冷却しています。したがって、本体の空気吸入口および排気口の周辺は、十分な空間を確保する必要があります。吸排気のための十分な空間がない場合、本体内の温度が非常に高くなり、装置が故障することがあるため、吸排気には十分にご注意ください。
本製品の空気吸入口と排気口を、以下に示します。



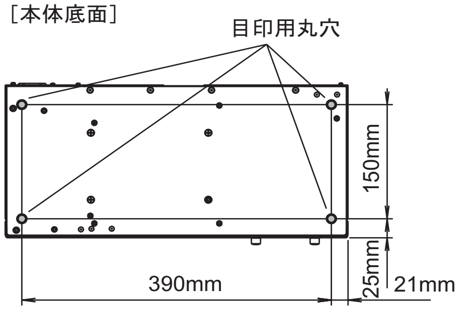
(2)　ゴム足の取り付け

本製品を平置きにして使用する場合、以下の手順で添付のゴム足を取り付けます。

1　装置本体に周辺機器が接続されていないこと、および装置本体の電源が切れていることを確認します。

2　装置本体を裏返し、底面を上にして置きます。

3　装置底面にゴム足を取り付けます。
本体の目印用の穴（直径 1mm）に中心を合わせて、ゴム足を貼ります。



⚠ 注意　本製品を平置きにして使用する場合、必ず添付のゴム足を取り付けてください。ゴム足を取り付けない場合、机などを傷つける場合があります。

(3) ラックへの搭載

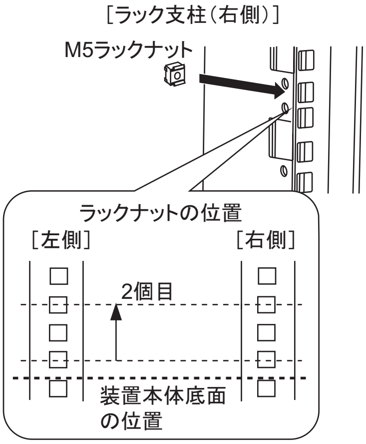
本製品は、19 インチラックに搭載して使用できます。本製品をラックに搭載するには、以下の操作を行います。

1 ラックの、装置本体を取り付ける側のドアを開きます。

2 ラックに添付の M5 ラックナットを、ラック支柱に取り付けます。

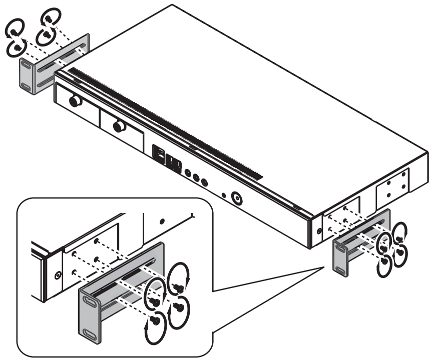
装置本体の底面の位置を決め、その底面位置と、底面位置から数えて支柱の 2 個目の穴にラックナットを取り付けます。

取り付ける側の、左右合わせて 4 箇所にラックナットを取り付けます。

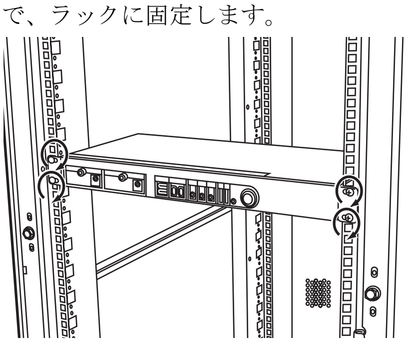


3 装置本体の側面に、添付品のラック取り付け金具を取り付けます。

ラック取付金具は、左右各 4 本ずつ、添付品の M4 ネジで取り付けます。



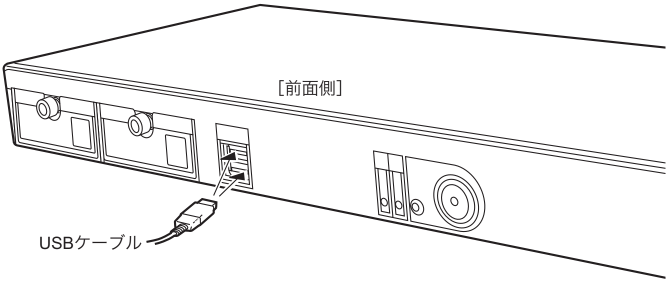
4 装置本体を、ラックに添付の 4 個の M5 ネジで、ラックに固定します。

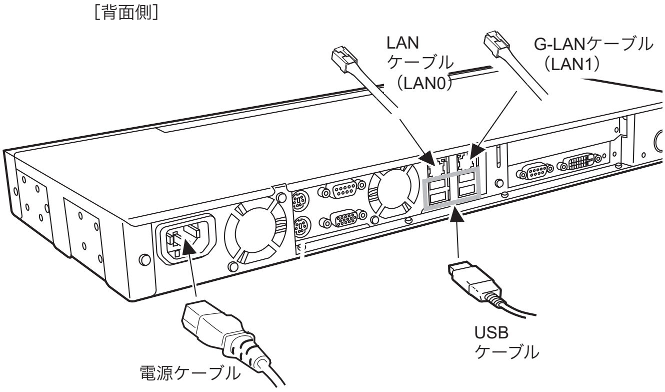


（4） コネクターの接続

本製品に周辺機器を接続します。

各ケーブルは、次のように装置本体に接続してください。





⚠注意

- 各ケーブルを接続するときは、装置本体および周辺機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから取り外してください感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると、電源ケーブルを傷め、火災・感電の原因になります。
- 電源ケーブルや電源プラグが傷んだとき、コンセントの差し込み口がゆるいときは、使用しないでください。そのまま使用すると、火災の原因になります。
- 電源プラグの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。そのまま使用すると、火災の原因になります。
- 同梱の電源ケーブルは AC100V 用です。AC200V でご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

第 2 章 取り扱い方法

この章では、電源の入れ方など、本製品の基本的な取り扱い方法について説明します。

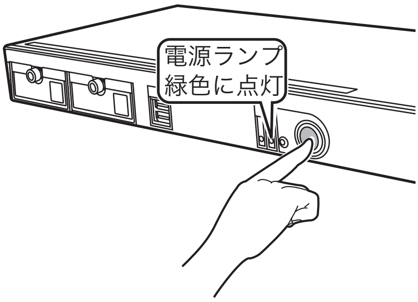
2.1 電源の入れ方／切り方

本製品の電源を入れたり切ったりする方法について、説明します。

⚠ 注意
- 電源を入れたまま、持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。本製品内部のデータを消失する原因となります。
- 本製品が結露している場合は、結露がなくなってから電源を入れてください。故障、感電の原因となります。
- この章で示す操作手順で、電源を入れたり切ったりしてください。操作手順に反すると、データが破壊されるおそれがあります。

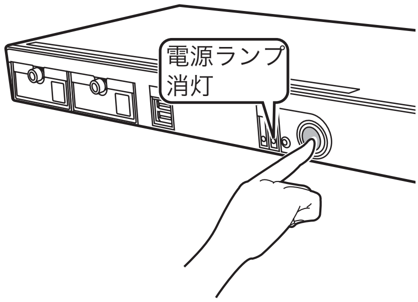
(1) 電源を入れる

1 装置本体前面または装置背面の電源スイッチを押します。
電源が入ると、電源ランプが緑色に点灯します。



(2) 電源を切る

1 装置本体前面または装置背面の電源スイッチを 5 秒以上押し続けます。
装置本体の電源が切れると、電源ランプが消灯します。



2.2 設定／管理

本製品の設定および管理は、背面の LAN コネクターに PC を接続して、Web ブラウザーから行います。

本製品の設定方法の詳細は、付属 CD-ROM に含まれている「初期導入ガイド」を参照してください。

本製品を初めて使用するときは、初期設定を以下の手順で行います。

1. 本製品の 10BASE-T/100BASE-TX ポート（LAN0）と PC のネットワークポートを、ネットワークケーブルで接続します。
   - 10BASE-T の場合はカテゴリー 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリー 5 以上の UTP ケーブルを使用します。
   - 本製品の 10BASE-T/100BASE-TX（LAN0）ポートは MDI 固定ですので、通常 PC と接続する場合は、クロスケーブルを使用するか、HUB やスイッチを経由してストレートケーブルで接続します。
2. 付属 CD-ROM に含まれている「初期導入ガイド」の手順に従って、PC の Web ブラウザーから設定画面（管理コンソール）を開き、初期設定を行います。

2.3 日常のお手入れ

日常のお手入れについて説明します。

（1） 装置本体のお手入れ

柔らかい布で乾拭きします。

乾拭きで落ちない汚れは、中性洗剤をしみ込ませて軽くしぼった布で拭きます。汚れが落ちたら、水に浸して固くしぼった布で、中性洗剤を拭き取ります。

拭き取りのときは、装置内に水が入らないようにご注意ください。

第 3 章　困ったときに

この章では、本製品を使用していてトラブルが発生した場合の対処方法について、説明します。

原因の特定ができない場合や現象が解消されない場合は、弊社サポートセンターに連絡してください。以下に、発生すると考えられる主なトラブルについて説明します。状況整理時の参考にしてください。

（1）　電源をオンにしても電源ランプが緑に点灯しない

- 正しい電源ケーブルを使用していますか

  本製品を AC100V で使用する場合は、同梱の電源ケーブルを使用してください。AC200V で使用する場合は、設置業者にご相談ください。
- 電源ケーブルが正しく接続されていますか
- 電源コンセントには、電源が供給されていますか

  別の電源コンセントに接続してください。

（2）　電源ランプが緑に点灯するが、正しく動作しない

- 電源をオフにした後、すぐにオンにしていませんか

  電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。

（3）　ケーブルを接続しても LAN コネクターの LED が点灯しない

- 接続先の機器の電源は入っていますか
- 接続先の機器のネットワークインターフェースカードに障害はありませんか
- 通信モードは接続先の機器と通信可能な組み合わせに設定されていますか

  接続先の機器を確認して、通信モードが正しい組み合わせになるように設定してください。
- 正しい UTP ケーブルを使用していますか
  - UTP ケーブルのカテゴリー

    10BASE-T の場合はカテゴリー 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリー 5 以上、1000BASE-T の場合はエンハンスド・カテゴリー 5 の UTP ケーブルを使用してください。
  - UTP ケーブルのタイプ

    本製品の 10/100/1000BASE-T（LAN1）ポートでは、MDI/MDI-X 自動切替機能が有効になり、接続先のポートの種類（MDI/MDI-X）にかかわらず、ストレート / クロスのどちらのケーブルタイプでも使用することができます。

    本製品の 10BASE-T/100BASE-TX（LAN0）ポートは MDI 固定ですので、接続先のポートが MDI の場合はクロスケーブルを、MDI-X の場合はスト

レートケーブルを使用する必要があります。

- UTP ケーブルの長さ

  カテゴリー 5 およびエンハンスド・カテゴリー 5 のケーブル長は最大 100m と規定されています。

(4) 管理画面にアクセスできない

- 初期設定は正しく行われていますか

  「設定ガイド」CD-ROM に含まれているマニュアルを参照のうえ、設定を確認してください。

  また、最新情報や各種補足情報については、弊社ホームページに掲載のリリースノートを参照してください。

付録 A 仕様

A.1 製品仕様

本製品の仕様は以下のとおりです。

項目		概要
準拠規格		IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3ab 1000BASE-T
適合規格		
	EMI 規格	VCCI クラス A
	安全規格	CSA60950, UL60950
CPU		インテル ® Celeron® M プロセッサ 320 / 512KB キャッシュ（変更不可）
メモリ		512MB（変更不可）
ハードディスクベイ		コンパクトフラッシュ搭載（変更不可）
電源部		
	定格入力電圧	AC100-240V
	入力電圧範囲	AC85-264V
	定格周波数	50/60Hz
	最大入力電流（実測値）	1.3A
	最大消費電力	100W
	最大発熱量	360kJ/h
環境条件		
	動作時温度	0 ～ 40 ℃
	動作時湿度	90% 以下（結露なきこと）
	保管時温度	0 ～ 50 ℃
	保管時湿度	90% 以下（結露なきこと）
外形寸法 （横幅×奥行き×高さ）		432 × 200 × 44 （mm）（ラック固定用の突起物含まず）
質量		3.7 ㎏

付

付録

付録 B　保証とユーザーサポート

B.1　保証と修理

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の内外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 修理受付窓口

0120-860332

携帯電話／ PHS からは : 045-476-6218

月～金（祝・祭日を除く）9:00 ～ 12:00

13:00 ～ 17:00

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）につきましては、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

B.2　サポートライセンス（年次）

本製品の修理およびユーザーサポートについては、「CentreCOM SSL VPN-Plus サポートライセンス」を別途ご購入いただくことで、サービスのご利用が可能です。サポートライセンスをご購入いただかない場合、一切の製品サポートが受けられませんのでご注意ください。

【サポートライセンス問合せ窓口】

アライドテレシス株式会社

〒 222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜 1-19-20　SUN HAMADA BLDG. 7F

サポート＆サービス事業部　サービス推進部

TEL：045-476-6220　FAX：045-476-6240

E-Mail：sas-sales@allied-telesis.co.jp

B.3　ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。

弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

(C) 2005 アライドテレシスホールディングス株式会社

B.4　商標について

CentreCOM は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

B.5　電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

B.6　廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

B.7　日本国外での使用について

弊社製品を日本国外へ持ち出されるお客様は、下記窓口へご相談ください。

0120-860442

月～金（祝・祭日を除く）9:00 ～ 17:30

B.8　マニュアルバージョン

2005 年 8 月	Rev.A 初版
2005 年 12 月	Rev.B 第 2 版

このページは空白です。

このページは空白です。

CentreCOM SSL VPN-Plus
取扱説明書

アライドテレシス株式会社